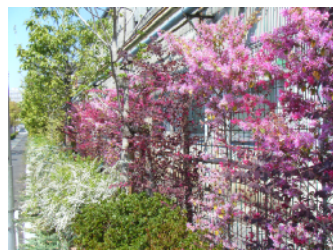


企業活動と緑豊かな景観づくりの両立をめざした 新しい地域貢献の取り組み

～ 尼崎 21 世紀の森型工場緑化ガイドブック～



このガイドブックでは、これまでの臨海地域内の企業のモデル的な緑化の取り組みを事例として紹介するとともに、これから工場の緑化に取り組もうとする企業の参考となるよう、尼崎 21 世紀の森構想に沿った工場緑化の具体的な手法をご提案しています。

環境の世紀にふさわしい「森と水と人が共生する環境創造のまち」をめざして、できるところから、はじめませんか？

尼崎 21 世紀の森づくり協議会

尼崎 21 世紀の森型工場緑化とは？

尼崎 21 世紀の森づくり協議会¹では尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため「森と水と人が共生する環境創造のまち」をめざす、「尼崎 21 世紀の森構想」²（以下「森構想」といいます。）の推進に取り組んでいます。

尼崎 21 世紀の森づくり協議会では、臨海地域に立地する企業・工場の皆様とイメージを共有しながら、地域の活性化（産業振興）を図ると共に尼崎 21 世紀の森にふさわしいみどり豊かな景観を創出するため「尼崎 21 世紀の森型工場緑化」を提案しています。



1 尼崎 21 世紀の森づくり協議会は、多様な主体の参画・協働によって森づくりを進めていくため兵庫県が設置しているもので、市民、企業、各種団体、学識者、行政から組織され、尼崎 21 世紀の森構想を推進しています。

2 森構想においては、緑豊かな市街地を形成するための緑の確保目標を「緑被率 30%」と掲げています。また、地域を訪れた人が緑を実感できるよう「水と緑のネットワーク」の実現を目指しています。



「尼崎 21 世紀の森型工場緑化」は、企業活動と緑豊かな景観づくりを両立させた、新しい地域貢献の取り組みです

「尼崎 21 世紀の森型緑化」とは、企業 PR やイメージアップ、良好な地域環境の形成、市民との連携など多様な意義を、緑化に積極的に位置づける考え方です。

昨今は「環境と経済の両立」が大きなテーマとして取り上げられているように、企業の持続的な経済活動と緑豊かな地域づくりを両立させる考え方が不可欠となっています。

平成 22 年 4 月から施行の「尼崎市工場立地法の特例措置及び景観と環境に配慮した工場緑化等の推進に関する条例」に定められている「工場緑化等の推進基準」の一部に、景観に配慮した沿道緑化やこまめな緑化の推進など、尼崎 21 世紀の森型工場緑化の考え方が採用されています。

このような考え方のもと、企業、市民、行政等が協力しながら「尼崎 21 世紀の森型工場緑化」を推進することで、「水と緑のネットワーク」を実現し、かつての公害のまちのイメージを払拭し、環境の世紀をリードする新しい産業地域の姿を共に創り上げていきたいと考えています。



運河沿いの緑化



尼崎 21 世紀の森型工場緑化のメリット

企業・工場の PR やイメージアップにつながります

尼崎 21 世紀の森構想の実現のため緑化に貢献いただいた企業を、尼崎 21 世紀の森づくり協議会や兵庫県・尼崎市のホームページ等で紹介したり、表彰を行ったりするなど企業のイメージアップにつながる取り組みを進めています。

CO₂ 削減に向けた取り組みや、企業・工場の CSR の取り組みとして、積極的にご活用頂けます。



フリーペーパー
(Aa)に掲載
(NPO 法人尼崎 21
世紀の森 発行)

(実例)

尼崎鉄工団地協同組合様

市民との協働による「すき間緑化」(工場敷地内の空きスペース等を活用した緑化)の取り組みを評価し、尼崎 21 世紀の森づくり協議会から感謝状を贈呈しました。

住友金属工業(株)様

道路沿いの工場の塀を除去したセットバック緑化の取り組みが評価され、兵庫県阪神南県民局から「尼崎 21 世紀の森緑化賞」を贈られました。

尼崎鉄工団地協同組合様との
協働によるすき間緑化活動



尼崎 21 世紀の森づくり
協議会から感謝状を贈呈



緑化に関する情報提供等を行い、企業の取り組みを支援します。

尼崎 21 世紀の森づくり協議会では、臨海地域に緑を増やすための勉強などを継続的に行っています。

地域にあった植生や、より景観上効果の高い植栽方法など、情報提供や提案を行います。

(実例)

(株)クボタ様

尼崎 21 世紀の森のイメージに即した形の緑化を希望されたことから、企業のイメージ UP と森づくりへの貢献を表現した緑化プランを提案し、実現しました。

パナソニックプラズマディスプレイ(株)様
工場の新設の際、兵庫県立大学の服部保教授の指導を受けながら尼崎 21 世紀の森づくり協議会が植栽の樹種、樹間等について提案し、一緒に検討を行いました。



(株)クボタ様
の事例

パナソニックプラズマ
ディスプレイ(株)様
の事例



尼崎 21 世紀の森型工場緑化のご提案

「尼崎 21 世紀の森型工場緑化」の考え方を踏まえた手法のイメージ

尼崎 21 世紀の森型工場緑化の具体的な手法をご提案します。これらのアイデアを参考に可能なところから緑化に取り組んでみませんか？ここでは、工場緑化の手法のイメージをご紹介します。

工場等の緑化に関する行政等の制度や尼崎 21 世紀の森づくり協議会の取組など緑化の参考となる情報を提供しますので、お気軽に尼崎 21 世紀の森づくり協議会事務局にお問い合わせください。

提案 1 ゆとりと潤いを実感できる沿道及び運河沿いの景観・環境づくり

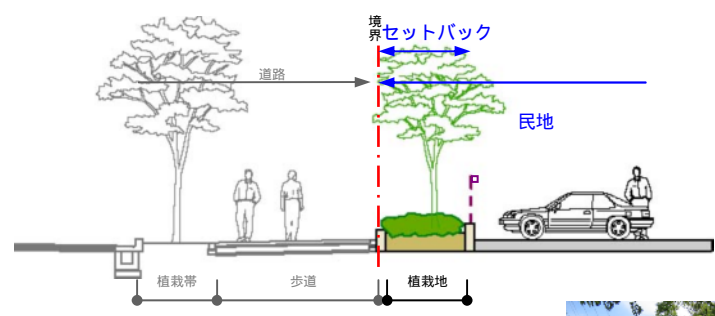
運河沿いの緑化

水辺空間と一体となった緑化
運河等の水辺空間に面する場所に緑を配置することで、水面や運河沿いの遊歩道上の植栽と連続した、水と緑あふれる快適な歩行者空間がつけられます。




日油（株）様の事例


沿道緑化



敷地境界の緑化
セットバック部に植栽地を設け、高木等の列植や低木植栽を行うなど、敷地境界での修景植栽と沿道の緑の連続性に配慮します。

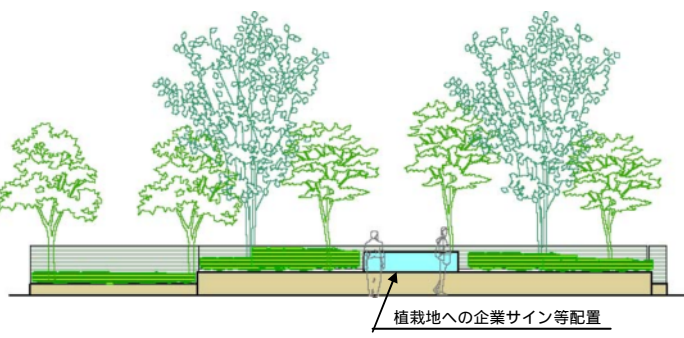


住友金属工業（株）様の事例




（株）クボタ様の事例

敷地コーナー部での景観配慮

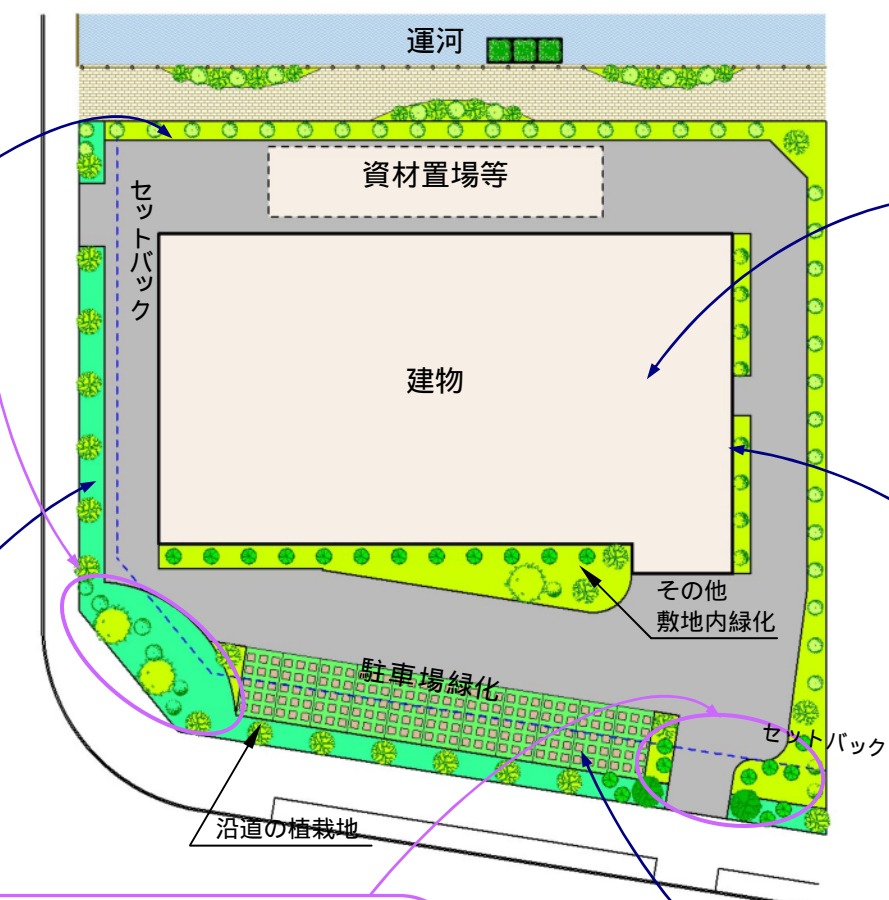


植栽地への企業サイン等配置


敷地コーナー部の緑化
シンボリックな高木植栽を配置するとともに、豊富な緑量を確保することで、象徴的な沿道の空間を効果的に演出することができます。



企業サインの配置イメージ



敷地エントランス部での景観配慮



エントランス付近の緑化
エントランス付近の高木植栽の樹種や樹高に変化を持たせ、入口付近で人の目を引きつける効果を高めます。

提案 2 企業のイメージを向上させる魅力的な景観・環境づくり


参画と協働による緑化の推進



(株)ニューアルマー様の植樹の様子

地域との連携による緑化
エントランス部分や工場の空きスペースなどを市民と協働で緑化することで地域との連携ができます。

生態系への配慮



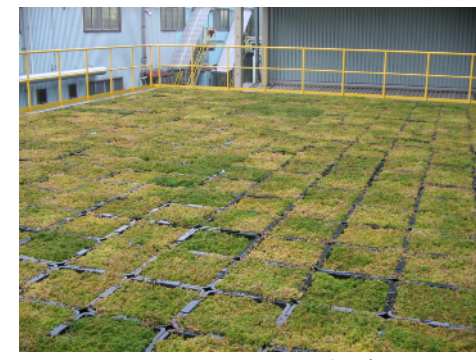
多くの樹種を混ぜ込む緑化のイメージ

生態系に配慮した緑化
敷地周辺に設ける緑地には、実のなる樹木や水場等を設けることで、鳥などの生物の生態系に配慮することができます。水生植物等を使用し、運河の水質浄化に配慮することができます。

緑化以外にも、環境に配慮した施設（太陽光パネル、光触媒塗装や製品等）の活用が望まれます。

提案 3 さまざまな工夫による緑豊かな景観・環境づくり

屋上緑化



屋上緑化
屋上緑化は植物の蒸散効果によるヒートアイランド現象緩和の効果だけでなく、室温上昇抑制や建物の保護効果などの劣化抑制など、様々な効果が期待できます。

(株)大阪チタニウムテクノロジーズ様の事例

壁面緑化



フェンス等補助資材を用いた壁面緑化
つる性植物などによる壁面緑化を行うことにより、建物壁面に豊かな表情を持たせ、立体的な緑を見せることができます。

大阪大学サステイナビリティ・デザイン・オンサイト研究センター様の事例

駐車場緑化



駐車スペースへの緑化
緑化ブロックや保護材等を用い、駐車スペースへの緑化を行なうことにより、無機質になりがちな空間にうおいを与えることができます。

尼崎スポーツの森駐車場

その他敷地内緑化



建物周りや敷地境界部での緑化
建物出入口付近や建物前面に低木や高木植栽等を配置し、建物の表情に変化を持たせたり、建物周辺の修景効果を高めたりすることができます。

高周波熱練（株）様の事例

ここでは、取組事例とともに尼崎 21 世紀の森型工場緑化の手法を提案します。

提案 1 ゆとりと潤いを実感できる沿道及び運河沿いの景観・環境づくり

道路や運河沿いは、工場地域を訪れる多くの人々の目に触れる場所であり、重点的な緑化や景観向上を行うことで、地域を訪れた人がゆとりと潤いのある緑豊かな景観を実感できます。

セットバック緑化でゆとりある景観を演出

- ・高・中・低木をバランス良く組み合わせることで、緑豊かな景観が生まれます。
- ・既存のコンクリート塀等も、簡易な壁面緑化でみどり豊かな印象が加わります。



日本鐵工(株)様の事例
道路沿いに約 1m 幅の植栽帯を設けている。フェンスは植栽の中に後退して設置しているので、敷地内の緑を見せることができる。



住友金属工業(株)様の事例
既存の工場の塀を一齐に撤去し、緑化空間として生まれ変わらせた。植樹は尼崎 21 世紀の森づくり協議会と協働で行った。沿道緑化推進モデルとして看板の設置も行った。

植栽や生け垣、花壇等でうるおいのある景観を演出

- ・地被類、生け垣、花壇などを組み合わせると、彩りも加わるなど景観上の効果も大きくなるとともに、市民や従業員の皆様にとってもうるおいのある景観となります。
- ・運河沿いに緑を増やすことで、水と緑のネットワークづくりに寄与できます。



尼崎21世紀の森づくり協議会の事例
国体開催にあわせて沿道の道路拡幅予定地を地元の方々と一緒に花で演出。景観上の効果も高い。



運河沿いの緑の事例
水面や遊歩道の植栽と一体となって、うるおいのある景観が形成される。

ブロック塀等視線を遮るものはできるだけ避けて、フェンスなどを用いて積極的に“外部に見せる”緑化

- ・視線を遮るブロック塀は避けて、透過性のあるフェンス等を用いれば緑を“外部に見せる”効果があります。



神鋼鋼線工業(株)様の事例
エントランス部分の塀を低くし、開放感のある緑地を外部からも見えるようにしている。



長谷川鉄工(株)様の事例
透過性のあるフェンスを用い、防犯・安全性にも配慮しながら、みどり豊かな景観を演出している。

提案 2 企業のイメージを向上させる魅力的な景観・環境づくり

地域への貢献が目に見える形で表れるよう工夫をほどこすことで、企業イメージ向上につながります。

企業イメージを向上させる緑化

- ・沿道や運河沿いの緑化や工場の顔となるエントランスや敷地コーナー部では高木等によるシンボリックな緑化を行うことにより、公共空間に開かれた緑地として、企業のイメージ向上につながります。
- ・従業員が関わったり、市民と協働で取り組んだりすることで、企業の地域への貢献をアピールできます。



三菱電線工業(株)様の事例
シンボリックな樹形の樹木を用いることで印象的な景観を形成している。



(株)クボタ様の事例
企業イメージを表現した緑地を整備した。尼崎 21 世紀の森づくりを紹介するサインも設置している。

生態系に配慮した環境面での魅力アップをめざす工夫の採り入れ

- ・地域植生に配慮した樹種による緑化、水質浄化の効果が期待できる緑化、あるいは生物多様性保全に寄与する緑化など、生態系保全に配慮した取り組みは、地球環境の保全にも寄与します。



「尼崎の森中央緑地」では、周辺の森から種を採取し、住民の参画と協働によって苗づくりから植樹・管理まで取り組んでいる。



生け垣も多くの樹種を混ぜ込むことで、多様な生物の住処になることが期待できる。

提案3 さまざまな工夫による緑豊かな景観・環境づくり

工場の敷地内にさまざまな工夫を採り入れることで緑豊かなイメージ形成が可能になります。

敷地内の緑化(こまめな緑化含む)に努め、緑豊かなイメージを形成

- ・敷地内でも既存の樹木を大切に、緑地の確保に努めましょう。
- ・空いている空間も緑化空間としてうまく活用することができます(すき間緑化)。



住友金属工業(株)様の事例
敷地内にある樹木をうまく活かして、緑豊かな景観を演出している。



尼崎鉄工団地協同組合様の事例
工場敷地の空きスペースも多様な手法で緑化空間へと早変わりする。

多様な緑化手法の活用による緑の確保

- ・屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化や水辺・水面を利用した緑化など、多様な緑化手法を活用し、緑を増やしましょう。



(株)大阪チタニウムテクノロジーズ様の事例
パレット型緑化資材で屋上緑化を行っている例。他にも、軽量の人工土壌や自然土壌を用いる例もある。



古河電気工業(株)様の事例
塀の緑化を行っている例。無機質になりがちなコンクリートの印象が緑によって緩和される。



駐車区画の緑化に加えて、所々に樹木を配置している。



尼崎鉄工団地協同組合様の事例
尼崎21世紀の森づくり協議会と協働ですき間緑化に取り組んでいる。

尼崎 21 世紀の森づくり協議会の取り組み

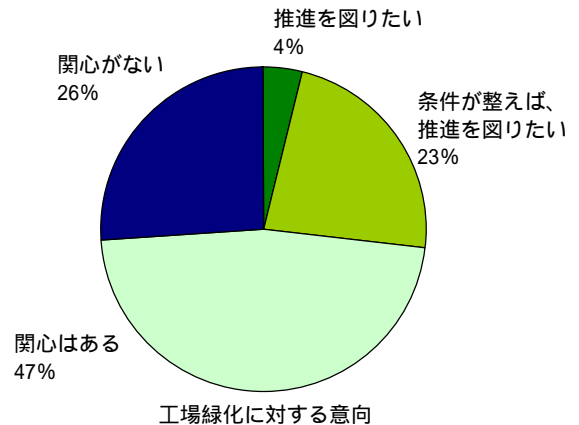
尼崎 21 世紀の森づくり協議会では、尼崎 21 世紀の森型工場緑化の推進に向けて、さまざまな取り組みを積み重ねてきました。

より多くの企業の皆様にこの森づくりに参画していただき、環境の世紀をリードする尼崎臨海地域とともに作り上げていきましょう。

企業の 7 割以上が緑化に前向きな意向を表明 (平成16年度の企業アンケート結果から)

尼崎臨海地域を中心とした企業を対象に、森構想の認知度や産業活性化の方策に関するアンケート調査を実施しました。

工場緑化については回答企業の74%が前向きな意向を示すなど、関心が高いことがうかがえました。



臨海地域の企業と緑化のあり方を検討・提案 (平成17～18年度の尼崎21世紀の森 工場地域みどり景観創出方策検討会の取り組み)

尼崎臨海地域における地域の活性化(産業振興)と緑の創出の両立について企業等の参画を得て検討を行い、みどり豊かな景観の「将来像」と、それを広げるための「推進方策」等について提案を取りまとめました。

この検討会をきっかけとした工場緑化のモデル的な取り組みも生まれました。



検討会の様子

「尼崎市工場立地法の特例措置及び景観と環境に配慮した工場緑化等の推進に関する条例」の策定に向け、緑化手法を提案(平成20年度)

尼崎市が、企業立地促進法に基づく工場立地法の特例措置を活用して緑地面積等を緩和する条例を策定するにあたり、緩和する緑地面積相当分以上を確保する手法について、工場地域みどり景観創出方策検討会の成果を活かして、地域の活性化(産業振興)と緑の創出の両立の観点から提案を行いました。

【お問い合わせ:尼崎 21 世紀の森づくり協議会事務局】

兵庫県 県土整備部まちづくり局公園緑地課 21 世紀の森室
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 tel:078-362-9242 fax:078-362-9264
兵庫県 阪神南県民局尼崎港管理事務所尼崎 21 世紀プロジェクト推進室
〒660-0083 尼崎市道意町 7-21 tel:06-6412-1361 fax:06-6413-1090
尼崎市 都市整備局 臨海・21 世紀の森担当
〒660-8501 尼崎市東七松町 1-23-1 tel:06-6489-6144 fax:06-6489-6146

【ホームページ】

http://web.pref.hyogo.jp/town/cate3_207.html(行政版)

<http://ama21mori.net>(市民版)